

令和5年第2回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和5年6月5日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応等について報告させていただきます。

5月8日、国において感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同等の五類に引き下げられたことに伴い、同日付で雲仙市新型コロナウイルス感染症対策本部を廃止いたしました。今後、感染防止対策については、個人や事業者の判断に委ねることが基本となりますが、市民の皆様におかれましては、引き続き、お一人おひとりの感染防止対策への心がけをよろしくお願いいたします。

また、感染防止対策の緩和に伴い、社会経済活動が回復に向かうことが期待されておりますが、ウクライナ情勢等による物価高騰は、依然として先行きが不透明な状況にあることなどもふまえ、引き続き各関係機関との連携を強固にし、情報の収集及び共有による市内経済の状況把握に努め、国・県の動向を注視し、必要となる経済対策等を速やかに講じることができるよう検討を重ねてまいります。

続きまして、市民の皆様の活躍につきまして、報告させて

いただきます。

【九州移住ドラフト会議2023について】

4月14日、南串山町の株式会社天洋丸が中心となり結成された「雲仙スーパーエタリーズ」の皆様より、移住者を受け入れたい地域が、移住希望者を指名することで、出会いの機会を創出する「九州移住ドラフト会議2023クライマックスシリーズ」において、本市での活動に関する発表内容が高く評価され、見事優勝されたとのご報告をいただきました。

【スポーツの分野における活躍について】

4月9日から14日にかけて、カザフスタンで行われたレスリングアジア選手権女子65キロ級において、国見町出身で日本体育大学4年の吉武まひろさんが、銀メダルを獲得されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

新型コロナウイルスワクチン予防接種の取り組みにつきましては、5月8日、初回接種を終了した65歳以上の高齢者、5歳から64歳までの基礎疾患がある方、医療従事者や高齢者施設などの従事者を対象とした、「令和5年春開始接種」を開始いたしました。

地域防災体制の強化につきましては、5月10日、九州ガス株式会社様と「災害時における相互協力に関する協定」を締結いたしました。

今回の協定締結により、市内における大規模災害時の早期復旧等、市民の安心安全の向上につながるものと期待しております。

また、5月30日、本格的な大雨シーズンを前に、令和3年8月の大雨により土砂崩れが発生した雲仙地区において、

長崎県が実施している治山事業の進捗状況の確認など、市内4箇所について、担当部署や島原振興局から説明を受けながら点検を実施いたしました。

今後も災害対応の充実と併せ、防災、減災の取り組みの強化を図り、市民の皆様の安全確保に努めてまいります。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

魅力的な観光商品の造成につきましては、5月14日、一般社団法人雲仙観光局の主催で、地域の食文化を楽しむ「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 国見」が開催され、市内外から参加された85名が、約10kmのコースを歩きながら、地元特産の山と海の幸を堪能されました。

受け入れ基盤の整備・充実につきましては、3月28日、鹿児島・阿蘇・雲仙エリアが観光庁の地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりのモデル観光地として選定されました。

今後、国からの支援などを活用しながら、更なる観光振興に努めてまいります。

また、5月17日、一般社団法人雲仙観光局の山下代表理

事とともに、西村環境大臣を訪問し、令和3年8月の大雨土砂災害からの雲仙温泉の復興、再整備への支援に対するお礼や、来年の3月16日に雲仙地域が国立公園指定90周年を迎えることから、記念イベントへの西村大臣のご出席及び関連事業への連携等について要望を行いました。

多様な交流の実現につきましては、4月21日、大成建設株式会社様と「観光まちづくりに関する包括連携協定」を締結いたしました。

今回の協定締結により、雲仙温泉をはじめとした観光地のにぎわい調査や、地震発生後の公共施設の安全性確認等を通じて、さらなる観光振興に取り組んでまいります。

【基本方針3「社会基盤と環境」の分野について】

主要道路の整備につきましては、5月16日、主要地方道小浜北有馬線道路改良工事（仮称）大亀矢代トンネルの安全祈願祭が執り行われました。

公共交通の維持・活性化につきましては、3月24日、25日、「チョイソコうんぜんスポーツフェスタ」が開催され、チョイソコうんぜんの利用等による外出促進と健康増進、市

民同士の交流を目的として、e スポーツ大会、バスケットボールクリニック、転倒予防セミナーなどが実施されました。

本イベントを主催されました「チョイソコうんぜん」共創プロジェクト実証実験協議会様をはじめ、関係者の皆様に対し心から感謝申し上げます。

I C Tを活用したまちづくりにつきましては、4月1日、市のホームページ上において、24時間365日、パソコンやスマートフォン、タブレットから知りたい情報を、いつでも取得することができるサービス、「雲仙市A I チャットボット」の運用を開始いたしました。

再生可能エネルギーの活用につきましては、5月10日、雲仙市地熱資源保護活用協議会様による答申の内容を踏まえ、九州電力株式会社様及び株式会社レノバ様より提出された、本市西部地点における地熱資源調査事業計画に対しまして、「同意書」を交付いたしました。

今後とも、地域の不安や期待を正確に汲み取り、市の発展に寄与する取り組みとなるよう慎重に対応してまいりたいと考えております。

【基本方針4 「人財と郷土」の分野について】

スポーツ環境の充実と利用促進につきましては、4月15日から5月3日にかけて、「第17回雲仙市ジュニアスポーツ大会」が開催され、9競技34種目に、県内外から192チーム、総勢約2,300名が参加されました。

また、4月22日、「CACカップ インクルーシブボッチャ2023 in 雲仙」が開催され、主催されたCAC Holdings様より、ボッチャボールを寄贈していただくとともに、9チーム58名の選手の皆さんが熱戦を繰り広げられました。

これらの大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に対し心から感謝申し上げます。

【基本方針5 「協働と戦略」の分野について】

市民参画と行政運営につきましては、3月23日、ビーウイズ株式会社様と包括連携協定を締結いたしました。

今回の協定締結により、「eスポーツ」を通じた地域の活性化等の分野において幅広い支援をいただくことで、地域の活性化及び市民サービスの向上に繋がるものと期待しております。

ます。

きめ細かな情報発信と広聴機会の充実につきましては、5月26日、雲仙市のさらなる魅力発信に向けて、株式会社長崎新聞社様が発行する「とっとって motto」や、ひまわりてれびの番組内において、市内で働く若者を毎月紹介する取り組みを開始いたしました。